

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



2017年
6
月号



目次

訃報・・・・・・・・・・2・3・4

移転問題、夏季営業のお知らせ
・・・・・・・・5

夏季営業商品申込書・・・・・・・・6

夕会便り、活動報告・・・・・・・・7

寄付のお礼、イチゴ狩り感想
スケジュール・・・・・・・・8

ボランティア募集
風〇〇サスペンス劇場（田中連載）
・・・・・・・・9

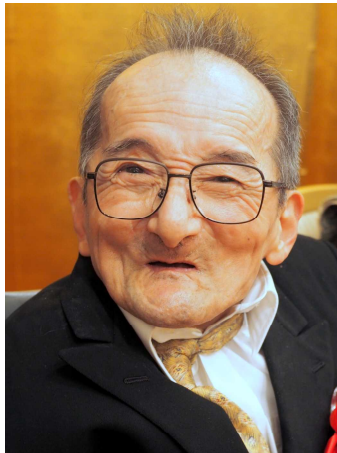
バリアフリーよもやま話
第60回「光明学校」（岡本連載）
・・・・・・・・10

虫めがね～病気・事故・事件体験～
恵司のつぶやき・・・・・・・・11

メンバーのつぶやき・・・・・・・・12



訃報 花田政國会長



花田政國会長逝去

本会、花田政國会長は、5月13日（土）午後2時39分、肺炎にて逝去いたしました。享年91才でした。生前、ご厚誼を賜りました多くの方々に心より感謝申し上げます。

花田会長は、我が国の障害者運動の草分けとして活動し、また春兆の号で俳人、文筆家、歴史家として活躍する傍ら、長年「風の子会」の会長を務めてまいりました。

本会における花田会長の時代は2次に渡ります。風の子会発足時（昭和56年）の初代会長は森 長平さんでしたが、間もなく森会長から引き継いで第2代の会長に就任し、平成11年の風の子会NPO法人化を機に第3代の丸岡忠明会長に代わるまで会長を務めました。しかし丸岡会長が平成17年に亡くなられたため、再び第4代会長として就任いたしました。

花田会長は行政や支援してくださる団体などとの折衝、応対などにかかわり、その抜群の知名度、行動力によって、まさに風の子会の「顔」としての存在を示しておりました。さらに、「風の子会から文化の発信を」と文化活動を風の子会の柱のひとつにすることを目指し、いろいろな大学とのコラボレーション、文集『風の響き』刊行などを推進して参りました。また毎年開催される港区社会福祉協議会の「共に生きるみんなの歌と踊りのつどい」を中心となって企画し、風の子会も第1回から積極的に参加しています。

風の子会の毎日の活動にはあまり参加することはなかった花田会長ですが、常に会の状態、会員、職員のことは気にかけ、運営委員会などには必ず出席しておりました。その折には風の子会での夕食を楽しみにし、牛丼や寿司、さらにはデザートも完食するなど、健啖家でありました。しかし、昨年秋に体調を崩して入院し、以後、療養・リハビリに努めておりました。入院中もコミュニケーション支援機器を使って俳句を詠むなど意欲は旺盛で、風の子会の状況報告に対しても「すべてよろしく」などの返事があり、意識・判断力は健在でした。体調も波はあったものの比較的安定しておりましたが、5月13日午後容体が急変し、旅立ちました。今年3月の「桃の花を待ちて 老いの身や がんばらん」が最後の句でした。

花田会長の足跡をさらに辿りますと、その幅広い活躍が窺えます。

1925（大正14）年 大阪府生まれ。脳性まひにより歩行不能、言語障害。

1934（昭和9）年 東京市立光明学校入学。

1947（昭和22）年 同人誌『しのめ』創刊

1954（昭和29）年 中村草田男主宰の俳句結社「萬緑」入会。

1963（昭和38）年 萬緑新人賞、俳人協会全国大会賞受賞。

1980（昭和55）年 国際障害者年日本推進協議会副代表。

1981（昭和56）年 内閣総理大臣賞受賞。

1992（平成4）年 NHK ラジオ日曜名作座で『殿上の杖』を放送。

1995（平成7）年 朝日社会福祉賞受賞。

2016（平成28年） ヤマト福祉財団小倉昌男賞特別賞。

そのほか、国の福祉予算の増額要求、障害者団体の刊行物郵送料の「低料第三種郵便制度」の確立、都立障害者福祉会館の設立などにも尽力し、また、ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学研修派遣事業の審査員を務めるなど、幅広く活躍しました。

著書は、『殿上の杖： 明石検校の生涯』こずえ（1980）、『日本の障害者—その文化史的側面』中央法規出版（1997）、『いくつになったら歩けるの（人間の記録）』日本図書センター（2004）、『句集 喜憂刻々』文學の森（2007）、『1981年の黒船—JDと障害者運動の四半世紀』現代書館（2008）、『句集 まほろば—ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者を讃えて』書肆アルス（2016）ほか多数があります。

花田会長を失ったことは大きな痛手ではありますが、風の子会はこれからもその遺志を継ぎ、障害のある人の生きがいの場の創造、文化の発信に努めてまいります。皆様にはこれからも変わらずご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成29年6月

特定非営利活動法人 風の子会

理事・副会長 岡本 明

長坂富紗子さん 追悼文

長坂さん、天国でもよろしく （元虹の子実習所所長 顧問 長坂富紗子さんは5月12日ご逝去されました。享年89歳でした。謹んでお悔やみ申し上げます。）

長坂さんと初めてお会いしたのは、「港区障害者（児）の豊かな生活を進める会」が行っていた、障害者のための街づくり点検活動でお台場（当時13号埋立地と言われていた）に点検に行ったときだと思います。新婚ホヤホヤの夫婦で参加した僕たちに「女は顔じゃないよあそこだよ」と言ったカアチャンや、伊藤君親子、樋口君、一石とトントのコンビ、隆君と天海ママや、森さん親子、高塚さん、丸岡さん、小倉さん、そして春兆さんがいて、そんな中にひとときわ上品で綺麗なご婦人が長坂さんでした。昭和51年の秋だと思います

来るべき昭和54年の国際障害者年に向かって全国で障害者の権利保障運動が繰り広げられ、「進める会」も成人の通所施設開設をはじめ、障害者の生活と社会参加を保障する制度を求める陳情、請願運動を繰り返し、港区の障害者福祉施策の発展を引き出していました。その「進める会」中心的な役割が一石・トントのコンビと春兆さん丸岡さんではなかったかと思っています。その元気な連中の暴走をコントロールする立場に長坂さんがいました。風の子会がサークルアラクサとして産声をあげたのは昭和53年ですがその前から長坂さんは、その誕生を支え見守ってくれていました。

昭和58年に毎日通所の「風の子会虹の子実習所」を東麻布に開所した時、私たちは長坂さんに実習所の所長をお願いしました。長坂さんはそれまでの長い綺麗な髪をショートカットした頭をテンテンして、「イメージチェンジよ」と言って所長を引き受けてくれました。

風の子会が現在の高浜に移ることになるまで10数年間、虹の子実習所の所長として、私たちをコントロールし見守ってくれた母のような存在でした。

重い重症心身障害の子の卒業後の受け止め先として、昭和60年から平成2年に区立センターB型に引き継ぐとしてそれまでの経過的受け皿として、障害者通所グループ「タンポポ」を育成会、守る会、風の子会で結成したときも長坂さんにはその事務局として束ねをしていただきました。

また、港区のボランティアセンターの重鎮として、幾多のボランティアリーダーを育てても来られ、沢山のボランティアが、長坂さんを敬慕していました。

その突然のお別れは、いつかはと覚悟していても、辛く悲しいものです。

いつしか御髪も白くなり、前線を退き、風の子会の顧問として遠くからの見守ってくださる温かさを感じていたのが、これからはなくなると思うと寂しい限りです。

長坂さん、永い間ありがとうございました。でも、亡くなられても期待していますよ。相次いで亡くなられた花田春兆さんや先に行っている丸岡さんとか一石とかと一緒にあって、「天国ボラセンター」やら「天国の障害者の豊かな生活を進める会」をそして「天国の風の子会」をお願いします。僕らもいつかは行きますから。

（文中に、当時の愛称ニックネームの呼称がありますことお許してください。）

事務局長 井出義文

高浜ビル取り壊しに伴う風の子引っ越し問題について

転居プロジェクト報告

転居プロジェクト動き始めました。5月に入り、加藤建築士から、改修工事日程表、港区役所建築課との打ち合わせ報告、消防署打ち合わせ報告、芝浦ビル改修工事図面案が、届きました。吉報は改修工事の一つでエレベーターの防煙工事が、工事不要との情報が来たことです。最終確認はまだですが、工事関連費用の節減に繋がる吉報です。

工事図面案に関し、5月30日（火曜日）関係者が現地に集まり、検討会を開きます。日清紡都市開発担当者、建築業者、風の子関係者、加藤建築士が集まります。工事箇所、仕様の検討です。

港区助成金申請手続き開始しました。平成29年2月3月分賃料、130万円受け取りました。平成29年度一年分780万円、申請、請求書提出しました。風の子会・長期借入金、会員の皆様のご協力で総額1040万円（内寄付金280万円）です。

転居プロジェクトスタートして一年経過、物件探しから始まって改修工事を検討するまでになっています。改修工事完了は9月末を予定しています。レイアウト仕様を検討、メンバーが動きやすく、生活しやすい環境づくりを目指します。

プロジェクト：小野塚満郎

2017年夏季衣料・日用品の販売

今年もまた衣料・日用品等の販売をおこないます。今回の商品もバラエティーに富んでいますので、どうぞご注文下さい。

今回もカタログを同封して送ることができないため、カタログをご覧になりたい方は、お手数ですが風の子会にご連絡下さい。後日郵送させていただきます。もしくは、きょうされんのホームページにある活動内容の中にもカタログが載っていますのでそちらもご覧下さい。

注文方法

- 風の子会高浜生活実習所へ電話又はFAXで注文。
- 風の子会高浜生活実習所へ注文用紙を持ってくる。

- *・・・商品のお届けは、ご注文締め切り後、約2週間前後となります。
- *・・・港区内の方は、無料配達致します。また配達の際は、代金引換となります。
- *・・・郵送の際はお手数ですが、同封する振り込み用紙にてお近くの郵便局でお振り込み下さい（手数料は無料です）。お買い上げ金額が5000円以下の際は、送料をご負担願います。

～ 締め切り日 ～

締め切り 7月22日（土）

～ご注文・お問い合わせはこちらへ～

風の子会・高浜生活実習所

〒108-0075 港区港南1-1-27 カナルサイド高浜302

TEL 03-3474-9674

FAX 03-3474-9213

2017年度衣料・日用品 販売申込書

締め切り 7/22 (土)

No.	商品名	価格	数量	合計
1	泉州ブランド フェイスタオルセット	¥1,400		
2	今治ブランド<ゆき&増殖>ミニタオル2枚セット	¥1,200		
3	コンパクトエコバッグ(ポーチ付き)(ブラック)	¥1,300		
4	バンダナ2枚セット	¥1,600		
5	<ヤリイカ>Tシャツ(ホワイト) S	¥2,000		
6	<ヤリイカ>Tシャツ(ホワイト) M	¥2,000		
7	<ヤリイカ>Tシャツ(ホワイト) L	¥2,000		
8	<ヤリイカ>Tシャツ(ホワイト) XL	¥2,000		
9	<ヤリイカ>Tシャツ(ブラック) S	¥2,000		
10	<ヤリイカ>Tシャツ(ブラック) M	¥2,000		
11	<ヤリイカ>Tシャツ(ブラック) L	¥2,000		
12	<ヤリイカ>Tシャツ(ブラック) XL	¥2,000		
13	風呂敷	¥2,160		
14	きょうされんふきんは、風の子価格で			
15	安くお買い求め出来ます。詳細は右面をご覧ください。			
16	<自転車>タオルポーチ	¥1,000		
17	<フタさん>タオルポーチ	¥950		
18	いちどにありがとう 32	¥3,980		
19	カラッとサラッと110番	¥1,080		
20	ドラム式洗濯槽快 分別タイプ 2個セット(サンプル付)	¥1,470		
21	ホコリよけ 湿気・臭い対策 肩カバー110番	¥1,080		
22	アウトドアプロダクツ コラボデイバック<となりのトトロ>	¥10,590		
23	アウトドアプロダクツ コラボデイバック<魔女の宅急便>	¥10,590		
24	口金ポーチ 魔女の宅急便<おすましジジ>	¥2,600		
25	口金ポーチ となりのトトロ<リーフグリーン>	¥2,600		
26	となりのトトロ・バスタオル<みどりの薫>	¥3,030		
27	となりのトトロ・タオルセット<みどりの薫>	¥1,950		
28	となりのトトロ・ミニタオルセット	¥1,950		
29	MOOMIN リトルミイタオルセット(ブルー)	¥1,950		
30	MOOMIN ミニタオルセット	¥1,950		
31	はらぺこあおむしTシャツ(紺) M	¥2,700		
32	はらぺこあおむしTシャツ(紺) L	¥2,700		
33	はらぺこあおむし ハンドタオル2枚組(あおむしマスコット付き)	¥1,950		
34	のびのびタオル枕カバー となりのトトロ<なごやか>	¥1,620		
35	のびのびタオル枕カバー 魔女の宅急便<うららかな窓辺>	¥1,620		
36	のびのびタオル枕カバー ムーミン<イブニング>	¥1,620		
37	のびのびタオル枕カバー リトルミイ<モーニング>	¥1,620		
38	のびのびタオル枕カバー ピーターラビット<ストレッチピーター>	¥1,950		
39	ドクターズリープ枕 ベーシックモデル(ブルー)	¥5,400		
40	マスコット付ドレスタオル ミッフィー<メラニーと一緒に>	¥1,080		
41	マスコット付ドレスタオル リサとガスパール<ふたりはなかよし>	¥1,080		

42	アンパンマン・バスタオル(音楽シリーズ)	¥1,620		
43	アンパンマン・ガーゼ風キッズタオル	¥1,300		
44	きかんしゃトーマス・バスタオル	¥1,620		
45	トンボ鉛筆 IROJITEN 第一集(色鉛筆)	¥3,880		
46	村上康成Tシャツ<モモンガ>(紺) M	¥2,500		
47	村上康成Tシャツ<モモンガ>(紺) L	¥2,500		
	小計			

No.	商品名	価格	数量	合計
1	特選やぶきた茶(100g)	¥1,000		
2	やぶきた茶(200g)	¥1,200		
3	ほうじ茶(200g)	¥400		
4	玄米茶(150g)	¥300		
5	共作連ふきん 1枚	¥216		
6	共作連ふきん 3枚	¥648		
7	共作連ふきん 5枚	¥1,080		
8	アクアモック	¥350		
9	アクアモック専用スポンジ	¥170		
	小計			

総計

ご住所 〒

フリガナ

お名前

お電話番号

※必ず日中に繋がるものにしてください

夕会便り

四月八日【歌と踊りの集いにつて】

七月一日(土)に、港区立麻布区民センターにて歌と踊りの集いが行われることになり、風の子会として参加をするか・しないかを決めました。その結果、今年も参加をするとなりました。今回の演目はテレビCMで放送されている『三太郎』を演じることになりました。

田中 聡



活動報告

四月の活動は、四月五日(水)・十五日(土)、お花見をしに行きました。五日(水)のお花見は、午後二時三十分ごろからドライブとして、東京ミッドタウンから芝公園周辺の桜を見に行きました。途中の芝公園で下車をして、お花見をしました。そして十五日(土)午後には、数名で芝浦中央公園に行き、お花見をしました。カナルサイド高浜の前にある公園なので、歩いて行きました。四月二十二日(土)午後二時三十分ごろ、風の子会の主治医である小出先生が来所され、メンバー数名への、健康相談を行いました。

田中 聡



寄付のお礼～賛助会・寄付にご賛同して下さいの方～

福島 照行 様、井出 義文 様、渡辺 三恵子 様、鈴木 謙一 様
福島 幸子 様、吉本 道子 様、羽鳥 貞子 様、新井 ミヨ 様
中山 進 様、湯川 揚子 様、大野 誠 様、飯尾 裕子 様
波多野 栄子様、木内 喜代子様、堀 信子 様、相蘇 正義 様
丸岡 秀明 様

イチゴ狩り感想

5月10日水曜日。風の子会でイチゴ狩りに行きました。しかし、車の故障でイチゴ狩りには行けませんでした。パーキングエリアにいました。私はお昼に野菜カレーライスを食べました。おいしかったです。ボランティアさんはちらし寿司を食べました。おいしそうでした。午後はボランティアさんと散歩しました。洋服とおもちゃがありました。最後は缶コーヒーを飲んで帰りました。そして、田中先輩はおかあさんと買い物してました。



柳川 敬事。



スケジュール

6 月	10 日（土）	総会
7 月	1 日（土）	歌と踊りの集い



ボランティア募集！！

相変わらずボランティア不足は続いています。それを防ぐため風の子会ではボランティアを募集しています。

なので是非風の子会に一度足を運んで下さい。やってもらう内容は、メンバーのトイレ介助や食事介助、メンバーとの団欒です。

魅力はいろいろな事もありますが、僕はやっぱりいろいろな人に会っていろいろな経験を通じて自分が成長できるのが魅力の一つです。また、その他にも風の子会では外に出かけたりなどその他イベント事がめじろおしです。春にはイチゴ狩りに行ったり花見をしたりイベント事は様々です。ボランティアまっています。

風の子会メンバー同

TEL：03-3474-9674

MAIL：kazenokokai@gmail.com



風〇〇サスペンス劇場

その女性は普段、アパレル関係のOLの仕事をしていて、週末が休みなのでボランティアをしに行った。その女性は「これを私の生きがいにする」と思い、積極的にボランティアを行った。その後、その女性が被害者になるとはまだ知らない。その日は炎天下で猛暑の平日の午後、彼女が働く職場に一本の電話が「もしもしYです。こんにちは、タカコさんいますか？」という電話だった。タカコ本人が電話に出たので「私タカコです。Y君どうかした？」と、するとYが「今夜僕と食事に行きませんか？」とデートの誘いの電話だった。

SATOSHI・TANAKA



作者 近影

バリアフリーよもやま話

第60回 「光明学校」

岡本 明

港区のほぼ中央、南麻布の古川橋の近くに、「絶江（ぜっこう）児童公園」という子供の遊び場があります。ブランコ、滑り台が1つずつあるだけ小さな公園です。絶江とは変わった名前ですが、この辺に絶江さんというお坊さんがおられたとかで、公園の近くには絶江坂という坂もあります。この公園の片隅に、ドクダミに覆われた小さな石碑が建っています。



「肢体不自由教育発祥の地 東京都港区」とあります。そう、ここが日本最初の肢体不自由児を対象とした「東京市立光明学校」が開設されたところなのです。この碑は昭和57年に創立50周年記念として建てられたものです。今は近くの保育園の元気な園児たちが先生に連れられて遊びに来て、この記念碑の周りではしゃいでいるのは微笑ましい風景です。

横に立っている説明版には、次のように書かれています。

「東京都光明養護学校発祥の地

港区南麻布二丁目九番二五号

学制公布後、わが国の児童の就学率は上昇してきましたが、肢体不自由児の教育は取り残されていました。昭和六年（1931年）東京市教育局は市内一五区の学齢児を調査して、一、二〇〇名の肢体不自由児の三分の一が未就学児であることを見出しました。そこで、当時就学免除の対象と考えられていた肢体不自由児のために、（中略）昭和七年（1932年）六月一日、東京市光明小学校を麻布区本村町二百三番地に創設しました。光明の名は、東京市長永田

秀次郎によって命名され、我が国最初の肢体不自由児学級となりました。（中略）

昭和十四年（1939年）九月、世田谷区松原に新校舎が落成し、当地には麻布分校が残りましたが、同二〇年（1945年）戦災により消失しました。その後、東京都光明養護学校と改称し、小学部、中学部、高等部を世田谷区松原に設置し、現在に至っています。

平成一九年三月

港区教育委員会」このように、光明学校は南麻布で誕生しました。校舎は廃校になっていた絶江小学校の古校舎だったそうです。はじめは小学部だけでしたが、8年後に世田谷に移転し、その後中学部ができました。1957（昭和32）年、都立光明養護学校になり、高等部もでき、さらに今年4月には久留米特別支援学校と統合して「東京都立光明学園特別支援学校」になりました。

さて、残念ながらこのたび逝去された本会の花田会長は、この光明学校の出身です。当時麻布に住んでおられましたが、一緒に遊んでいた友達が小学校に入学するのに、自分は脳性性まひのために「就学猶予」という事実上の就学拒否によって学校へ行けない。二度に渡って「就学猶予願い」出したとき、絵を描いていたクレヨンをもその悔しさに握りつぶして折ってしまった。これをのちに「就学猶予 クレヨンポキポキ折りて 泣きし」と詠んでおられます。光明学校ができたことを知ったご両親はすぐに入学を、と申し込んだのですが、当時入学はなかなか難しく、最初は入れなかったと聞きます。入学できたのは昭和9年、花田会長9歳のときでした。

子供のときのお住まいが麻布だったことや、昨年秋に最初入院されたのが絶江児童公園のすぐ近くにある古川橋病院だったのも、光明学校との深い縁が感じられます。また風の子会の過去、現在のメンバーにも光明養護学校で学んだ花田会長の後輩がいて、風の子会と光明学校の縁も薄いものではありません。

虫めがね ～病気、事故、事件体験～

母と散歩していた僕は、道路の向こう側からこちら側に渡ろうとした時、車いすが転倒して車道に放り出されてしまったのです。もしあの時信号機が普通に青になっていたら僕はこの世に生きていなかったのではなかろうかと思うほどの出来事だった。今考えてみると寒気が止まらないような話です。もっとも僕の母は相当そっかしい人間だったと記憶している。でも母は人情に篤い人だった。母の思い出を読んでももらえればわかると思うが母はとても優しい人だった。僕は母が好きです。死んだ今でも好きなのだから何とも言えません。

太田 穂

病気体験、私は幼い頃にさんまを食べました。そのときに骨がのどに刺さりました。痛かったです。母と一緒に病院へ行きました。私はくちをあけて先生がピンセットで骨を取ってくれました。皆さん、魚の骨には気を付けてください。

柳川 敬事

風の子で救急車騒ぎを起こしてしまったことがある。トイレで転倒して頭を切ってしまったのだ。救急隊員が来て担架で運ばれ、救急車で近くの病院へ行き、切った箇所を、7針縫ってもらった。怪我自体はさほど大きくはなかったけれど、風の子のみんなに心配と迷惑をかけてしまったことを今でもよく覚えている。

小野塚 航

恵司のつぶやき

あつい夏に来る
僕

ハワイに行きました
楽しい刈った
お父さんに
深夜に

行ったレイを

キスにをわお袋が夢ぼくが若いとき

けいじ



メンバーのつぶやき

6月と言えば！梅雨！風の子会の総会が10日（土）に行われる。

私は当会の運営委員会が始まった時から38年間続けて来たが、上の者から「もう若手に任せた方がよい！障害者の委員が多いから少なくしたい。送迎が大変だと思っていた。」と言われてた。私は昭和63年迄は港区に所在していたが、平成元年から品川区の住民となった。風の子会は港区の事業所であるので、品川区に引っ越ししても当会に来てよいのか？という疑問を抱いた。当時の風の子会の役員や職員に聞いても、今まで通り活動も運営も続けてもよいと言われたのでホッとした。途中で体調を崩し長期（10年くらい）休んでいても私の名前が運営に残っていたのでビックリした。今まで以上に活動や運営を頑張っていきたいと思っていた！！

風の子会のボスが定年退職後、当会に毎日来ている。送迎が必要な障害者の家を見て回ったり、職員に指導したり事務仕事を見たりしている。

私の体が老化していて器用だった足が動かなくなっているのを見て、運営委員を外す気になったみたいだ！私個人的にはまだ出来ると思っていた。今更言われてもねえー？！説得する言葉が見つからなかった。運営委員を降りた事により気が楽になり心の中に穴が開いてしまい落ち込んでしまった。必ず運営に復活する日を願っている。

YUKI



風の子は私にとってすごく時間が有意義に過ごせる場所だ
今必要な事をやらしてくれる所
大事に使っていきたい

森 杉

私の誕生日は、昭和39年（西暦1964年）12月25日のクリスマスの日に生まれました。

この年は東京オリンピックが開催された年と、東海道新幹線が開通した年です。

今度2020年平成32年にオリンピックが、日本で開催されることでメダルを沢山取れることを期待します。

※（今回は工房の掛橋さんに会報記事を書いて頂きました。）

掛橋 竜也

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

幸森松田小太
本村野田
塚
高杉恵亮 圭
史 司彦航子

和柳三塚田太
栗川木田中田
顕
太敬直愛
郎事人基聡稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075

東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階

TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

